



麒麟獅子フェスタの様子

今後、地域の活性化や文化振興に貢献していきたいと考えています。

CIVICPRIDE
 委員会 委員長
 西根 健太

「日本遺産 麒麟獅子舞フェスタ2024」が8月25日、岩美町の中央公民館で開催され、CIVICPRIDE委員会を中心に鳥取YEGから28人が運営に参加しました。

麒麟獅子舞フェスタは、鳥取YEGが創設当初より携わってきたイベントで、今年度も2人が実行委員会に出向し、開催に向けて準備をしてきました。当日は雨の予報にもかかわらず、フェスタの終わり間際まで晴天に恵まれ、多くの地元住民や子どもたちが会場を訪れました。鳥取YEGは、緑の企画運営を担当。特に子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫を凝らしました。定番の輪投げやスーパースポーツ、射的などのゲームは大人気で、参加した子どもたちが笑顔で遊んでいました。

このフェスタは地域の伝統文化を継承し、広めるための重要なイベントです。フェスタへの参加を通じて、地域全体で協力し合い、地元の伝統を次世代に伝えるという共通の目標を持つことで、地域の結束がますます深まること、そして、地域の方々と密接にかかわりながら、地元の伝統文化を未来へ引き継ぐ役割を果たしていくことの大切さを改めて実感しました。



大懇親会集合写真

鳥取YEGとしても、力強いサポートができるよう、益田大会での経験と感動を多くのメンバーと共有し、生かしたいと考えています。

対外交流特別委員会
 委員長
 西川 朋宏

2025年度は鳥取県連の仲間である米子YEGの主管で「中国ブロック大会米子大会」が開催されました。

現地では、台風の影響で予定されていた計画が思うように実行できない場面もありましたが、益田大会のテーマである「真・善・美・古から未来へ」と益田の真価を発揮する「街へ」を体現する真心と思いのこもった美しい演出が行われていました。予想外の困難に立ち向かい、しっかりと開催にこぎつけた益田YEGの皆さまの情熱を、目の前で感じる事ができる素晴らしい大会でした。



参加したメンバー

後、地域を巻き込みながら、公共交通の維持・発展につながる取り組みを進めていきます。

政策提言委員会
 委員長
 岸本 雄司

「セッセ交通フェスタ」が9月15日、鳥取駅前パードハットで開催され、実行委員会に参加している鳥取YEGも多くのメンバーが運営に参加しました。会場には、昨年度を上回る約3200人が来場し、親子連れなどが秋の3連休を満喫していました。

このフェスタはYEGの政策提言がきっかけとなって始まったイベントで、少子高齢化の進む中、公共交通の在り方や利用促進を改めて考える機会をつくらうと毎年、開いているものです。

会場では、とっとりふるさと大使のポケモン「サンド」と「アローラサンド」を描いたラッピングバスやタクシーの車両展示、とりモビリティ、地域の鉄道PRブスのほか「列車・バスで行った旅の思い出」作品やジオラマの展示、さらに運転適性検査、運転シミュレーターなどさまざまなコーナーが設けられました。来場した子どもたちも、タクシーのラッピングやバススクイズ選手権、バス綱引き、ミニバス乗車会といったイベントを笑顔で楽しんでいました。

準備と終了後の片付けの最中には雨に見舞われてしまいましたが、フェスタでは多くの方々に、公共交通について考えてもらえたのではないかと、思います。

新入会員(3名)

- 

中澤 賢介 君
 (なかざわけんすけ)
 事業所名 ㈱北旺鉄建
 所属委員会 鳥取お城委員会
- 

中石 勇大 君
 (なかいしゆうだい)
 事業所名 ㈱Martial President
 所属委員会 鳥取お城委員会
- 

森本 圭 君
 (もりもとけい)
 事業所名 ㈱ルーツ
 所属委員会 CIVICPRIDE委員会

日本遺産・麒麟獅子舞フェスタ

中国ブロック大会益田大会

セッセ交通フェスタ



発行: 令和6年10月15日
 鳥取商工会議所青年部
 広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信



鳥取商工会議所青年部
 会長 高藤 軌晋
 株式会社 オービット

■令和6年度
会長あいさつ

10月に入り、秋が深まってきました。朝晩は涼しくなり、空気が少しずつ澄んでいくのを感じます。街路樹も色づき始め、秋の訪れを実感する季節となりました。収穫の秋ともいわれるこの時期、私たちの活動が実を結びつつある時期がもしません。自然の豊かさに感謝しながら、私たちも実りある成果を目指し引き続き努力してまいります。

さて8月25日、岩美町中央公民館で開催された「日本遺産・麒麟獅子舞フェスタ2024」に参加しました。鳥取YEGは、昔ながらの遊びを体験できるブースを企画・運営し、子どもたちに射的や輪投げなどを楽しんでもらいました。今後も地元の伝統や文化を伝え続けていくとともに、地域の皆さんと活動していきたいと思えます。

8月30日、31日には「中国ブロック大会益田大会」が益田市で開催されました。今年も多くのメンバーで参加する予定でしたが、直前に発生した台風10号の影響で少人数での参加とせざるを得ませんでした。大会では、台風の影響を感じさせない益田YEGの皆さん

の熱い思いを感じることができました。そして、ブロック大会のバトンが託されています。来年は多くのメンバーと米子を訪れたいと思っています。そして9月11日、臨時総会と9月例会を開催しました。臨時総会では、次年度会長に立候補した民野泰稔君が、満場一致で予定者に承認されました。所信表明での志と熱い思いを胸に、来年度のさらなる飛躍に期待したいと思います。続く例会では、担当の会員交流委員会が「9月だよ！全員交流」と題し企画したレクリエーションやクイズを楽しみながら交流を深めました。過去最多の参加人数を記録し、今年度の折り返しに相応しい例会となりました。9月15日には鳥取市内で開催された「とっとり交通フェスタ」の運営に参加しました。今年度は、会長として多くの場所を訪れることになり、公共交通を利用する機会が増えました。これまでハンドルを握っていた時間を、読書や情報収集などに使うことができ、移動中にも充実した時間が過ごせることに気づかされました。皆さんもぜひ、公共交通を利用してみてください。きっと新たな楽しみが見つかるはずです。

今年度も後半戦に入りましたが、まだまだ多くの事業が控えています。鳥取YEGのビジョンの実現、そして4年後の設立50周年に向け、会員一丸となって一歩ずつ歩みを進めていきたいと思います。



9月例会の様子



臨時総会

9月例会・臨時総会開催

会員交流委員会は9月11日、9月例会を開催しました。参加人数は152人に達し、目標の参加率70%を超え、出欠の回答率も100%を達成しました。

9月例会は、「9月だよ！全員交流」と題し、所属委員会の垣根を越えて会員間の交流を深めようと、交流イベントとして企画したものです。鳥取YEGでは、事業が充実する一方で、年間を通じて各委員会の負担が大きくなってしまいがち、所属する委員会のメンバー以外と交流する場面が少なくなっています。レクリエーションでは、10人ほどのグループを10チーム作り、小さなチヨコを積み高さを競う「タワーゲーム」、YEG綱領指針を題材にした「穴埋めクイズ」、「鳥取YEGの良いところ探し」の3つのゲームで得点を競いました。参加者は、童心に返り、楽しいひと時を過ごしていました。例会後のアンケートには「とても楽しかった」「今後も楽しめる例会が必要」など多くの感想が寄せられました。

Y(勇気)、E(笑顔)、G(元気)を胸に、今後も鳥取YEGが輝けるよう交流イベントを企画していきたいと思えます。

会員交流委員会 委員長 大深 仁恵